

令和元年度




「北白川だより」

学校評価 臨時号

令和2年 2月28日
京都市立北白川小学校
校長 藤林 弘之

学校教育目標

『学び合い 高め合い 夢に向かって進む 北白川の子』
～目標の実現に向け努力する意欲・態度と問題解決能力を培う～



御所花車

平素は本校教育活動の推進のためにご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、保護者の皆様にはお忙しい中、冬休み前の学校評価にご協力いただき、ありがとうございました。学校評価は児童・保護者・教職員が共通の意識をもち、連携しながら教育活動を進めるために、それぞれの立場でこれまでの取組について見つめ直す手段の一つであり、その結果から見えてくる課題について分析し、よりよい教育の在り方について考えていきたいと思っております。

本号では12月に行いました学校評価アンケートの結果をお知らせします。表面には＜学習面＞、裏面には＜生活面＞を載せています。表のAは「よくできている」Bは「だいたいできている」Cは「あまりできていない」Dは「できていない」を示しています。

【後期 学習面】																		
	児 童		A	B	C	D	保護者		A	B	C	D	教職員		A	B	C	D
①	まいにちのがくしゅうのめあてが たっせいできている。	前期	47.2%	42.2%	9.2%	1.2%	我が子は、学校で学んだことを身に付けている。	前期	29.2%	64.0%	6.5%	0.3%	確かな学力(思考力・判断力・表現力)が身に付くような実践を行っている。	前期	15.8%	68.4%	15.8%	0.0%
		後期	48.1%	40.6%	9.0%	2.2%		後期	29.9%	66.4%	3.7%	0.0%		後期	16.7%	66.7%	16.7%	0.0%
②	せんせいやともだちのはなしをよくきいて、かんがえている。	前期	59.9%	32.3%	5.6%	2.1%	我が子は、人の話をしっかりと聞いて考えることができる。	前期	25.8%	58.5%	15.4%	0.3%	友達や先生の話しっかりと聞いて考える習慣をつける取組を行っている。	前期	36.8%	47.4%	15.8%	0.0%
		後期	58.9%	32.5%	6.7%	1.8%		後期	27.8%	59.6%	12.4%	0.3%		後期	44.4%	44.4%	11.1%	0.0%
③	じゅぎょうちゅうすすんでじぶんのかんがえをはつげんしている。	前期	45.7%	32.0%	16.3%	5.9%	我が子は進んで自分の考えを話すことができる。	前期	25.5%	55.7%	17.8%	0.9%	授業中、子ども達が進んで自分の考えを話せるような授業づくりを心掛けている。	前期	22.2%	66.7%	11.1%	0.0%
		後期	42.7%	32.4%	18.3%	6.6%		後期	26.0%	53.3%	20.1%	0.6%		後期	33.3%	61.1%	5.6%	0.0%
④	よんだり、かいたり、けいさんしたりするちからがみにについている。	前期	56.4%	33.2%	7.4%	3.0%	我が子には、基礎的な学力(読む・書く・計算する)が身に付いている。	前期	32.6%	56.0%	9.8%	1.5%	基礎的な学力(読む・書く・計算する)を身に付ける取組を行っている。	前期	33.3%	55.6%	11.1%	0.0%
		後期	55.8%	33.9%	7.3%	3.0%		後期	31.9%	59.1%	8.4%	0.6%		後期	22.2%	72.2%	5.6%	0.0%
⑤	いえでじぶんからしゅくだいやがくしゅうをしている。	前期	53.9%	30.1%	12.2%	3.9%	我が子は、自分から家庭学習に取り組むことができる。	前期	24.0%	48.3%	24.3%	3.4%	家庭学習の習慣が定着するように働きかけている。	前期	21.1%	52.6%	26.3%	0.0%
		後期	53.8%	29.5%	11.8%	4.8%		後期	25.4%	48.0%	25.4%	1.2%		後期	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
⑥	すすんでどくしょをしている。	前期	63.5%	24.3%	8.0%	4.2%	我が家では、本に親しむことができる環境を整えている。	前期	35.7%	40.3%	19.7%	4.3%	読書の習慣が定着するような働きかけを行っている。	前期	21.1%	57.9%	21.1%	0.0%
		後期	60.7%	24.1%	10.2%	4.9%		後期	33.9%	45.8%	18.4%	1.9%		後期	16.7%	66.7%	16.7%	0.0%
⑦	じぶんからすすんでうんどうをしている。	前期	63.8%	23.1%	8.9%	4.2%	我が子は進んで運動に取り組んでいる。	前期	39.1%	33.5%	24.6%	2.8%	進んで運動できる工夫を考え、実践している。	前期	5.6%	61.1%	33.3%	0.0%
		後期	60.3%	22.5%	12.3%	4.9%		後期	31.7%	40.4%	24.1%	3.7%		後期	5.6%	61.1%	33.3%	0.0%

【②先生や友達の話をよく聞いて、考えている】

【③授業中進んで自分の考えを発言している】の項目より

②の項目については児童・保護者・教職員ともに約9割が「よくできている・できている」と回答しています。授業中や集会などでも発言者の方に意識を集中して聞いている様子が見られます。しかし、③の項目では教職員の約9割が「自分の考えを話せる授業づくりをしている」と考えているのに、児童・保護者の割合は約7～8割となっています。指導と実際の姿に隔たりがあることを踏まえて、今後の授業づくりの改善を心掛けていきたいと思います。特に、高学年においては、「言葉による自己表現力の向上」を目指すとともに、よりよいコミュニケーション能力の育成にも取り組んでいきたいと考えます。

【④読んだり、書いたり、計算したりする力が身に付いている】

【⑤家で自分から宿題や学習をしている】の項目より

④の項目については前期・後期共に児童・保護者・教職員ともに約9割が「よくできている・できている」と回答しています。また、⑤の項目についても児童の約8割、保護者の約7割、教職員の10割が「よくできている・できている」と回答しています。このことは日々の学校・家庭の継続した取組の結果であり、この基礎的な学習内容や学習習慣はこれからの子ども達の学びを支えるベースとなるものだと考えています。日々の学習や単元テスト・ジョイントプログラムテスト等の結果から、児童の課題を見出し、学校と家庭で連携をしながら児童の学力向上を目指したいと考えます。

【⑦自分から進んで運動をしている】の項目より

大きな変化はなかったものの、A・B の値が児童・保護者共に減少が見られました。しかし、体育科の授業や学級の「みんな遊び」・児童会主催のスポーツ大会などでは意欲的に活動する姿が見られます。ただ、休み時間の自由遊びを見ていると、体は動かしているものの、遊びの種類が少なく、バランスよく体の機能を使えていないように思います。教職員においても3割の教職員が「進んで運動できる工夫」が十分に実践できていないと回答しています。限られた時間や場所の中で安全に配慮しながら、児童が「体を動かすことが楽しい」と考え、進んで運動に親しめるよう、家庭や地域の皆様と連携を図りながら、児童の体力向上のための取組を考えていきたいと思います。

	児 童		A	B	C	D	保護者		A	B	C	D	教職員		A	B	C	D
①	じぶんからすすんであいさつをしている。	前期	62.3%	32.0%	4.5%	1.2%	我が家では、進んで挨拶するように声かけをしている。	前期	42.5%	52.0%	4.9%	0.6%	自分から進んで気持ちのよい挨拶ができるように働きかけている。	前期	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%
		後期	62.4%	31.6%	4.3%	1.6%		後期	34.1%	62.5%	3.4%	0.0%		後期	44.4%	55.6%	0.0%	0.0%
②	いえやがっこうのルールをまもっている。	前期	50.7%	41.5%	7.4%	0.3%	我が家では、学校のルールを守るように働きかけている。	前期	34.5%	61.8%	3.7%	0.0%	学級や学校のルールを守る意識を高める取組を行っている。	前期	50.0%	45.0%	5.0%	0.0%
		後期	46.6%	43.9%	8.8%	0.6%		後期	34.3%	63.0%	2.8%	0.0%		後期	44.4%	55.6%	0.0%	0.0%
③	そうじやせいりせいとんをきちんとしている。	前期	45.1%	39.2%	14.8%	0.9%	我が家では、身の回りの掃除や整理整頓を自分でするようにしている。	前期	14.2%	46.5%	36.3%	3.1%	自分から進んで掃除や身の回りの整理整頓をするように働きかけ、自らも実践している。	前期	45.0%	50.0%	5.0%	0.0%
		後期	44.8%	38.2%	15.1%	1.8%		後期	11.6%	47.2%	38.4%	2.2%		後期	55.6%	44.4%	0.0%	0.0%
④	こまったことは、せんせいやかぞくにそうだんしている。	前期	50.4%	30.6%	13.6%	5.3%	我が家では、子どもの話をしっかり聴くようにしている。	前期	22.8%	66.5%	10.8%	0.0%	子ども達に向き合い、しっかりと話を聴くようにしている。	前期	50.0%	45.0%	5.0%	0.0%
		後期	48.4%	29.1%	15.7%	6.7%		後期	20.1%	70.6%	9.3%	0.0%		後期	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
⑤	だれにたいしてもていねいなことばではなしている。	前期	33.5%	43.0%	19.6%	3.9%	我が家では、丁寧な言葉遣いで話すように心掛けている。	前期	15.7%	60.0%	23.4%	0.9%	誰に対しても丁寧な言葉遣いで話すよう指導するとともに、自らも実践している。	前期	40.0%	55.0%	5.0%	0.0%
		後期	31.2%	43.5%	21.4%	3.9%		後期	14.5%	64.6%	20.0%	0.9%		後期	38.9%	55.6%	5.6%	0.0%
⑥	にがてなことにもじぶんからとりくんでいる。	前期	45.1%	36.2%	13.9%	4.7%	我が家では、どんなことにも努力する姿勢を大切にしている。	前期	25.2%	63.4%	10.8%	0.6%	子ども達が、苦手なことにも前向きに取り組めるような手立てを、常に意識して実践している。	前期	42.1%	47.4%	10.5%	0.0%
		後期	43.3%	36.9%	14.7%	5.1%		後期	23.9%	69.0%	6.8%	0.3%		後期	27.8%	66.7%	5.6%	0.0%
⑦	じぶんのよいところがいえる。	前期	47.5%	31.5%	11.9%	9.2%	我が家では、子どものよさを認め、伝えるようにしている。	前期	35.7%	55.7%	8.0%	0.6%	子どものよさを認め、適切に伝えるようにしている。	前期	42.1%	52.6%	5.3%	0.0%
		後期	45.4%	30.0%	15.0%	9.6%		後期	36.4%	56.5%	7.1%	0.0%		後期	44.4%	44.4%	11.1%	0.0%

全体的に保護者・教職員の評価は前期・後期共に大きな変化はないものの、わずかに改善傾向が見られるものが多くありました。しかし、児童の評価を見てみると、大きく変化はないものの、全ての項目においてC・Dの数値が上昇していました。特に、【④困ったことは先生や家族に相談している】や【⑦自分のよいところと言える】については他の項目よりも大きく数値が下がっていました。

保護者・教職員の④の項目のA・B評価を見ると、保護者約90％、教職員100％が「子どもに向き合ってしっかりと話を聴いている」としていますが、児童は約77％となっており、大人と子どもの見方に隔たりがあります。児童が親や先生に相談しなくても、自分で解決する力を身に付けていくことは大変望ましいことです。しかし、児童が相談したくてもできない状況になっていないか、聞いているつもりでもその本質（奥にある訴え）を捉えられているか等については、私たち大人が考えていくべき課題だと思います。

また、⑦の項目のA・B評価においても、保護者93％、教職員約90％ですが、児童は約75％となっています。「褒めること」や「感謝の言葉を伝えること」は自己肯定感や自己有用感を育むために大変大切なことです。また、「自分のよいところ」を人から言われて認識することに加えて、自分で認識するためには、「自分の力でやりとげた経験」や「誰かの役に立った経験」など実体験を伴うことでより確かに自分のよさとして認識できるのではないかと考えます。

さらに、⑤の項目【誰に対しても丁寧な言葉で話している】については、上昇率は高くないものの依然としてC・D評価の数値が最も高くなっています。言葉遣いからトラブルに発展することも多いので、私たち教職員も襟を正して、児童への指導に当たりたいと思います。

○今回のアンケートでは、保護者の皆さんに14の項目について振り返って書いていただきました。一部になりますが、紹介させていただきます。

・やる気のある時と面倒くさい時で波があります。（親も同じ）整理整頓は習慣づけが大事だと思うので、もう少し意識的に声掛けをしてみようかなと思いました。

・親は大切だと思い、めげずに声掛けをするのですが、なかなか実現できているかは厳しいです。挨拶も親の目の届かないところでどれだけできているか不安です。

・言葉遣いが気になります。ちょっと悪ぶっているのもあると思いますが、どこまで直すのか難しいです。

・「我が家では…」の設問に対して、自信をもって「よくできている」と答えられないところに課題を感じ、反省している。忙しさを理由にせず、子どもに向き合っていけるよう努力したいと改めて思った。

・改めて振り返りますと、以前よりは学習に対して集中力がついてきたように感じますが、まだまだ積極性に欠けます。自宅での学習しやすい環境づくりを整えなければならないと反省いたしました。

・学年が上がるに伴い、単に決められたルールを守ることだけが善というだけでなく、ルールそのものに疑問を感じることも増えてきました。「自分で考える」という点では、大きな成長だと思うので、ルールの必要性などが納得できるように話し合うことが一層大切になると考えています。

・学芸会や授業の発表で声の小さいお子さんがおられるので、もったいないなと思います。せつかく良い考えをもっている子が今度は伝える力を発揮して欲しいなと思います。

・年齢が上がるにつれて運動する機会が減ると思うので、休み時間などはなるべく外で過ごせる工夫があればありがたいです。

・基礎的な学力の中に自己表現力やコミュニケーション力・ディベート力などが加わるとよいと思います。

・小学校での学びは塾では得られません。子ども達の社会の場として、大きく伸び伸びと育てられる場として、皆で築いていける北白川小学校であってほしいです。

・全般的にはできていると思うが、私自身がつつい子供自主性に任せてしまっている事も多いと感じた。子どもの手本となるよう心掛けたい。

・何事に関しても、自分で考え、選択していく姿勢を徹底させていきたいと思っています。

保護者の皆様からいただきましたご意見についても教職員で共通理解を図るとともに、3月5日の「学校運営協議会理事会」でも話題にさせていただきます。お忙しい中、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。子ども達の成長のために学校と保護者が連携してよりよい取組を進められますよう、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。